

令和4年7月19日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後2時00分
閉会 午後2時57分

2 出席委員

神 先 宏 彰 教育長
北 村 真 也 教育長職務代理者
末 永 礼 子 委 員
出 藏 裕 子 委 員
福 嶋 百合子 委 員
陀 安 一 郎 委 員

3 欠席委員

秋 山 伸 夫 委 員

4 出席事務局職員

片 山 久仁彦 教育部長兼文化資料館長事務取扱
久 保 日出樹 次長兼総括指導主事
岡 田 康 宏 教育総務課長
内 藤 一 彦 学校教育課長
樋 口 竜 次 社会教育課長
山 崎 浩 久 社会教育課人権教育担当課長
岩 崎 盛 雄 歴史文化財課長
桂 和 裕 学校給食センター所長
谷 仁 志 図書館長
谷 口 正 二 みらい教育リサーチセンター所長
阿比留 綾 教育総務課副課長兼総務係長事務取扱

5 傍聴者

なし

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

令和4年6月21日に開催した定例会の会議録を承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・令和4年度第1回亀岡市総合教育会議において、市長と意見交換を行った。
- ・保津小学校で実施している有機米を使った米飯給食の試食会に出席、市長と共に試食した。
- ・市議会定例会6月議会が休会され、補正予算他全議案が可決された。
- ・亀岡市教育支援委員会委嘱状交付・総会に出席し、44名の委員に委嘱状を交付した。
- ・小、中、義務教育学校の教頭を対象とした学校マネジメント講座の開始にあたってあいさつした。
- ・竹岡 敏 元市教育長及び日下部 九州男 元市立学校長に対し叙勲を伝達した。
- ・令和4年度第1回亀岡地区学校警察連絡協議会に出席、児童生徒の指導上で必要な場合には、学校、警察、教育委員会で密に連携をとることをあらためて確認した。
- ・校園長会議において、新型コロナウイルス感染拡大防止対策及び熱中症予防対策の徹底等について指示した。
- ・12月4日に開催予定の「出会い・発見・共生 人権を考える第40回亀岡市女性集会」第1回実行委員会に出席し、あいさつした。
- ・曾我部町、吉川町、南つつじヶ丘の各町の地域こん談会に出席し、市立学校の状況等について説明した。
- ・今年度第1回目の教育委員学校訪問として、亀岡川東学園、給食センター、千代川小学校、本梅小学校、本梅こども園を視察した。
- ・令和3年度の教育委員会実施事業について点検、評価を行った。
- ・第72回“社会を明るくする運動”市民中央集会に出席した。

(4) 報告事項

- ①亀岡市立の小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する府費負担職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令について
- ②学校訪問（結果）について
- ③学校規模適正化について
- ④令和5年度小規模特認校児童募集について
- ⑤令和5年亀岡市はたちを祝う会（仮称）について
- ⑥「アートでつながる あなたとわたし」
かめおか霧の芸術祭×社会教育について
- ⑦第70回企画展「怪異・妖怪に先人のところをみる」の開催について
- ⑧令和4年度人型ロボット（pepper）活用事業の進捗状況について
- ⑨令和4年度8月教職員研修講座のお知らせについて

○各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<学校規模適正化について>

末永委員 別院中学校ブロックの取組で、別院中学校と南桑中学校の交流事業において、今後少しずつ生徒が共に過ごす時間を増やしていくこと、南桑中学校の生徒が別院中学校のことを理解する機会を設けること、また、スクールバスの試走会を開催するなど、本当にきめ細やかな取組を積み重ねてきていると思う。それらの取組が生徒や保護者の安心につながると思うので、今後も丁寧に取組んで欲しい。

<令和5年度小規模特認校児童募集について>

末永委員 今回の募集要項は、小規模特認校3校分の情報を一本化して作成されており、亀岡市教育委員会と学校が一体性をもって取組んでいることが明確となり、市民や保護者にもアピールすることができると思う。また、3校の取組も一覧できることで、それぞれの特色の比較もしやすくなり、制度利用を検討する保護者も増えることを期待したい。ただし、以前から特認校制度自体をどのようにしていくのか教育委員会として検討していくべきであるとの意見も出されており、過去や今年度の取組結果も検証しながら今後検討を進めていく必要がある。

<第70回企画展「怪異・妖怪に先人のところをみる」の開催について>

北村職務代理者 今回の企画は亀岡市という枠組みを超え、京都府全体の取組と連携されていることで、各市町の企画が一つの物語となっており、非常に魅力的なものを感じる。先に社会教育課から報告があった霧の芸術祭とのコラボレーション企画も社会教育の枠組みを超えた取組みである。学校教育でもアートといった概念は重要であり、文化資料館や社会教育課での取組同様に、学校教育という枠組みを超えた取組ができれば、より魅力的な教育ができるのではないかと思う。また、パンフレットからも面白味が感じられ、そのようなセンスの良さを学校教育の中に取り込めばより魅力が増すと思う。

<令和4年度人型ロボット（pepper）活用事業の進捗状況について>

北村職務代理者 積極的に活用されている学校もあれば、その活用が十分にできていない学校もあると感じている。その原因の一つとして、全校に一律的に配置されたことが良かったのか考える必要があるのではないかと思う。他にも学校間で活用

に対して温度差があるのは、マンパワーが足りないのか、活用しようという気持ちが高まっていないのかといった原因も考えられるが、それらを含めて検証していかなければならない。

谷口みらい教育リサーチセンター所長

今年度は全校に一律で配置した。配置するにあたっては活用方法も含めて十分に説明を行い、児童の学習活動において活用できるという合意もあった。ただ現状としては、全ての学校において十分に活用されている状況ではないことは認識している。プログラミングやコンテンツで限られた部分もあるが、上手に活用して欲しいと考えており、そのためには、まず慣れるということも重要と考えている。今後も十分に活用されるよう、計画的に取り組を進めていきたい。

陀 安 委 員

活用方法の理解が十分でない学校に対しては、例えば資料にあるエコラフティング事業などの行事に合わせて具体的な活用方法を示すことも有効である。また、プログラミング学習においても、ある学年のカリキュラムに具体的にその活用方法を示していくなど、みらい教育リサーチセンター主導で情報提供を行っていくこともできるのではないか。

谷口みらい教育リサーチセンター所長

プログラミング学習については、小中学校で使える内容のものになっている。英語学習にも活用できるよう取組も進めており、秋以降にはその活用に関して教職員がスキルアップできるような機会も設けながら進めていきたいと考えている。また、プログラミング学習に関して、みらい教育リサーチセンター主導で情報提供を行うことに関しては、小学校高学年分については検討していきたい。

北村職務代理者

来年度も同様に進めていこうと考えているのか。実際に教育課程の中に組み込んでいくうえでは、単年というスパンでは考えにくく、3年くらいのスパンでその活用方法について検討することも有効ではないか。今年度は全校に配置し活用状況や課題を収集分析、来年度以降は単年度計画ではなく、また、全校一律配置という形もやめて、その活用に意欲のある学校から3年間の活用計画を受け、重点的に配置して取組を進めるという形をとれば有効な活用が進むと思う。また、行政の役割と学校の役割も明確にして、共に進めていくということも大切であると思う。

谷口みらい教育リサーチセンター所長

来年度の取組については今後検討していくことになるが、今年度の活用状況や課題点を分析して、より効果的に活用が進むよう取組んでいきたいと考えている。

<令和4年度8月教職員研修講座のお知らせについて>

末永委員 8月17日開催予定の教育セミナーは教育委員も参加できるのか。

谷口みらい教育リサーチセンター所長 リモートでの開催となるので、教育委員の皆様にも参加いただく方向で検討している。

(6) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上